昇降パネルを下降させたとき

銀除菌・アレル除去フィルター（灰色）
▶23ページ

光触媒空清フィルター（黒色）
▶23ページ

ワイヤー

エアフィルター
▶23ページ

ダストブラシ　ダストボックス　昇降パネル

室外ユニット

各部のなまえと働き

リモコン

ふたを開けたとき

ふたをスライドさせて
開ける。

運転切換ボタン

運転のモードを選びます。（自動・ドライ・冷房・暖房・送風） ▶12ページ

快眠ボタン

室内温度をコントロールして快い眠りとさわやかな目覚めをサポートします。▶19ページ

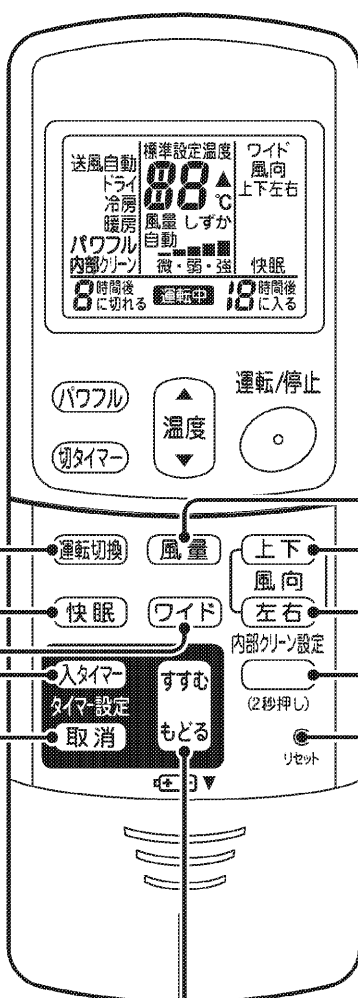
ワイドボタン

窓から屋外温度が伝わるのを抑えるため、風向を窓側にも向けます。 ▶15ページ

入タイマーボタン

運転を開始するまでの時間を設定します。 ▶17ページ

タイマー取消ボタン

タイマー予約を取り消します。 ▶16, 17, 19ページ

風量ボタン

風量を調節します。▶13ページ

上下風向ボタン

上下風向を調節します。 ▶14ページ

左右風向ボタン

左右風向を調節します。 ▶14ページ

内部クリーンボタン

エアコン内部を乾燥させて、カビやニオイの発生を抑えます。 ▶20, 21ページ

リセットボタン

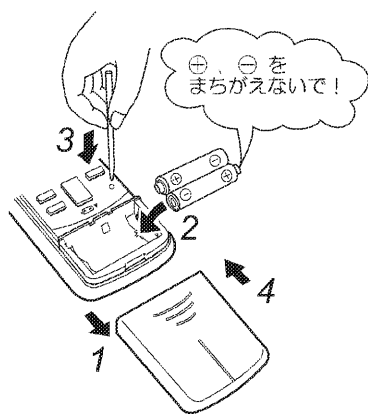
電池交換時やリモコンの動作が正常でない場合に押します。 ▶10ページ

入タイマー、快眠設定ボタン

入タイマー時間と快眠時間を設定します。▶17, 19ページ

運転前の準備

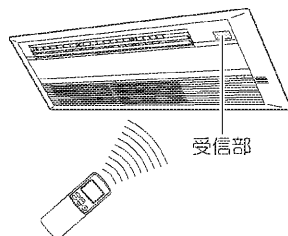
リモコン

■電池を入れる

1 ふたを手前に引き、取り外す。

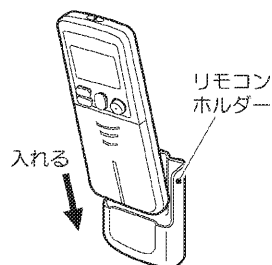
2 単４形アルカリ乾電池を２本入れる。

3 つまようじなどの先の細いもので
リセットボタンを押す。
●電池交換時やリモコンの動作が
正常でない場合に押してください。

4 もとどおりにふたを閉める。

■使いかた

●リモコンの送信部を室内ユニットの受信部に向けてください。カーテンなど信号をさえぎるものがあると作動しないことがあります。

●受信できる距離は約５ｍです。
（角度、方向によって受信距離は異なります。）

■壁などに取り付ける場合

1 信号が受信される場所を選ぶ。

2 リモコンホルダーを付属のネジで、
壁・柱などに取り付ける。

3 リモコンをリモコンホルダーに入れる。

電池について

●電池を廃棄するときは、端子をテープなどで巻き付けて絶縁してください。
他の金属や電池と混じると発熱・破裂・発火の原因となります。

●電池は、お近くの電器店、時計店、カメラ店などにある電池回収箱に入れてください。

●交換のめやすは約１年ですが、リモコンの表示部が薄くなり受信されにくくなりましたら、２本同時に新しい単４形アルカリ乾電池と交換してください。

●乾電池の「使用推奨期限」に近いものは、交換時期が早くなる場合があります。

●液もれや破裂による故障やけがを避けるため、長期間ご使用にならない場合は、乾電池を取り出してください。

●付属の乾電池は、最初にお使いいただくために用意しているもので、１年に満たないうちに消耗することがあります。

リモコンについて

●落としたり水が入らないようにしてください。（液晶部が破損することがあります。）

●電子式点灯方式の蛍光灯（インバーター蛍光灯など）があるお部屋では、信号を受け付けにくい場合があります。このようなときには、販売店にご相談ください。

●リモコンで他の電気機器が作動する場合は、電気機器を離すか、販売店にご相談ください。

お知らせ

じょうずな使いかたについて

●冷やし過ぎや暖め過ぎにご注意ください。適度な室内温度設定は節電につながります。

<おすすめ設定温度>
冷房時…26℃～28℃
暖房時…20℃～22℃

●窓にはブラインドやカーテンを使用すると、直射日光やすきま風を防ぎ、冷房・暖房効果を高めます。

●エアフィルターの目づまりは、冷房・暖房効果を低下させ、電気のむだ使いとなります。
1.5ヵ月に一度のめやすでお手入れしてください。

知っておいてください

●エアコンは運転しないときでも、電力を消費します。▶35ページ

●シーズンオフなど、長期間使用しないときはブレーカーを切ってください。

●シーズン中はブレーカーを入れておいてください。暖房運転時、温風が出るまでの時間が短縮されます。

運転条件

●下表の条件以外で運転を続けると、安全装置が働き、運転が停止する場合があります。
また、冷房・ドライ運転の場合は室内ユニットに露が付き、滴下する場合があります。

冷房	
屋外温度	21℃～43℃
室内温度	21℃～32℃
室内しつど	80%以下
暖房	
屋外温度	－10℃～24℃
室内温度	27℃以下
ドライ	
屋外温度	18℃～43℃
室内温度	18℃～32℃
室内しつど	80%以下

室内ユニット

■標準パネルの場合：光触媒空清フィルターを取り付ける

▶25ページ

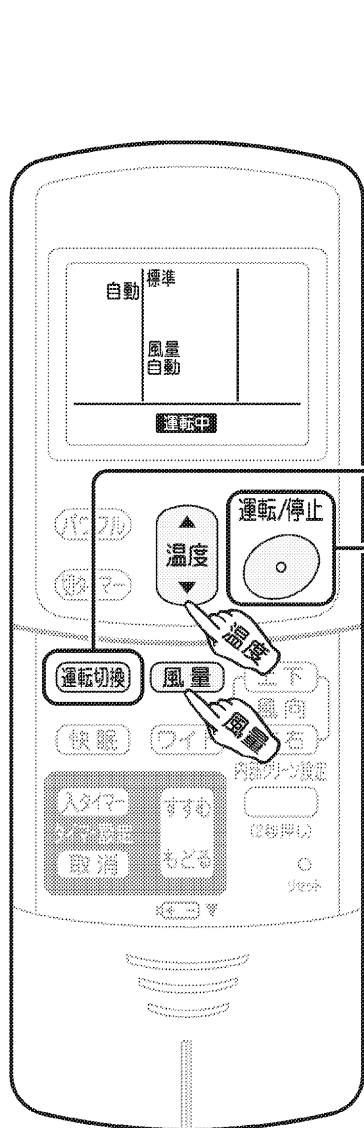
■フラットパネルの場合：銀除菌・アレル除去フィルターと光触媒空清フィルターを取り付ける

詳細はパネルに付属の取扱説明書をご確認ください。

■ブレーカーを入れる

●ブレーカーを入れると、フラップ(上下風向調節羽根)が一度開き、また閉じます。

運転のしかた

自分に合ったお好みの運転を選べます。
一度合わせると、次回からは同じ運転ができます。

1 運転切換 を押し運転モードを選ぶ。

●押すごとに下記のように運転モードが切り換わります。

自動 → ドライ → 冷房 → 暖房 → 送風 → 自動

2 運転/停止 を押す。

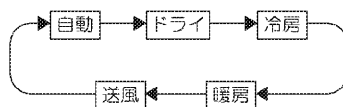
本体の運転ランプが点灯

運転　タイマー

■停止したいとき

運転/停止

をもう一度押す。

●本体の運転ランプが消灯します。

自動運転について

●自動運転は、運転開始時の室内温度、屋外温度に応じて、自動で運転モード（ドライ、冷房、暖房のいずれか）、設定温度を選びます。

●設定温度と運転モードはその後定期的に見直します。お好みに合わないときは、温度ボタンで微調節していただくか、運転モードを変えてください。

暖房運転について

●屋外温度が下がるにつれ暖房能力が低下します。暖まり不足の場合には他の暖房器具の併用をおすすめします。

●暖房運転中、室外ユニットに霜が付くと能力が低下するため、霜を取り除く運転（除霜運転）をします。

●除霜運転中、室内ユニットからは温風が出ません。